

### 寒い朝の幼児組のルーティン

三寒四温を経て、少しずつ温かくなっているとはいえ、朝はまだまだ冷たく、寒さが厳しいようです。そんな中、本園の幼児組はぞう組を筆頭に外での朝のルーティンが始まります。まずは1、2、3、4と声をかけながら手足をぶらぶらしたり、首を回したりしながら体をほぐします。次にぞう組はマラソン5分間、きりん組は園庭を10周、ひつじ組は5周などに取り組みます。更に縄跳びをする子ども、自由に遊ぶ子どもなど30分以上かけての活動です。時には、うさぎ組も廊下に出て、見学したり真似っこなどをしたりします。体が温かくなった感触、達成感などの体験を通して、体力づくりに励んでいます。私も子どもたちに触発されて一緒に走ったり縄跳びの回数を数えたりして、子どもたちとの朝のふれあいを大切にしています。

### \*第三者評価の受審

コロナ禍ではありますが、今年度は第三者評価の受審を予定しております。これは公私立保育園に限らず公的な機関、高齢者施設、障がい児施設などが対象です。第三者の活用などにより、保育所が子ども・保護者や地域社会に対して、保育の質の向上に主体的・継続的に取り組んでいることなどを発していきます。結果はHP等で公表いたします。これにより保護者の皆さんは保育に対して情報を得て、保育所など選択することなどに役立つといわれています。そこで、本園の保護者の皆さんにもご協力をお願いしたいと思います。2月9日に「利用者アンケート」を配布いたしますのでご質問に、お答えいただき、直接ポストに投函いただきたいと思います（コロナ対応）〆切は2月24日を予定しております。よろしくお願いいたします。

### 2月の行事予定

- 1日(月) プリント配布  
月曜集会 頭髪検査
- 2日(火) 節分
- 3日(水) 園の節分の集い  
調理保育：恵方巻  
立春
- 8(月) 月曜集会
- 9日(火) 避難訓練
- 12日(金) 身体測定
- 15日(月) 月曜集会
- 18日(木) 卒園式練習①
- 16日(火) 誕生会
- 22日(月) 月曜集会



### 3月の行事予定

- 1日(月) プリント配布  
月曜集会 頭髪検査
- 3日(水) ひな祭りの集い
- 5日(金) 避難訓練
- 8日(月) 月曜集会
- 9日(火) 実習生来園  
22日まで
- 10日(水) 身体測定
- 11日(木) 誕生会
- 15日(月) 月曜集会
- 16日(火) お別れ会
- 19日(金) 第4回卒園式
- 22日(月) 月曜集会
- 25日(木) アルバム配布
- 26日(金) 持ち物持ち帰り
- 29日(月) 月曜集会  
本日からクラス移行  
ぞう組はさくら組

### 表現活動の様子DVD貸し出し日の変更

今年度はコロナ禍で発表会が中止になりました。その代替の取り組みとして日々の表現活動をDVDに焼いて保護者に回覧をいたします。2/5からの回覧予定でしたが、2/19に変更をさせていただきます（理由：緊急事態宣言でお休みが多かったため）尚、申込期間は2/8～2/12までとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### \*お別れ遠足：ぞう組 <<3月12日(金)>>

開園以来、ぞう組は大型バスを貸し切って江ノ島水族館に行っていました。少し遠いのですが、館内の見学と砂浜でたっぷり遊び帰園は4時ごろになっていました。しかし、今年はそれも叶いそうにありません。何かそれに代わるものはないかと思案した結果、「歩け、歩けお別れ遠足」をすることにしました。公共交通機関の利用、貸し切りバス等は感染対策としてあまりにも危険度が高くなりますので、歩いて遠くを目指します。多摩川です。片道40分くらいはかかりますが、今のぞう組なら大丈夫です。お弁当も園で食べたいところですが、今回は現地でいただくことにします。詳細は3月の園だよりでお知らせいたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

### \*第4回卒園式

3月19日(金) 10時30分より

今、現在では行う予定でいます。しかし、安全を最優先にいたしますので、どうしてもいくつかの制限があると思います。時間はできる範囲で短く、内容も厳選して行います。しかし、子どもたちの最後の意義ある行事です。厳粛のうちにも思い出深いものにしたいと考えております。ぞう組の保護者の皆様にはご協力いただくことも多々ございますが、どうぞよろしくお願いいたします。詳細は別日にプリントを配布いたします。

### \*絵本は子どもにとって大切な宝物

長く幼児教育の世界に身を置いてきた立場からも乳幼児期は「絵本を大事にしたい」というのが私の考えです。子どもたちは絵本が大好きです。園でも絵本は毎日必ず読んでいます。朝の会、給食の前後、お昼寝の前後、帰りの会などその時々を利用して絵本の読み聞かせを行っています。お家でも忙しいと思いますが、寝る前など親のぬくもりを感じながら優れた絵本に接し、一緒に共感し合う一時があると子どもの感性や想像力を豊かにする貴重な時間になります。私たちに「食事の時間」があるように「絵本の時間」を設けて、少ない時間でも毎日絵本を子どもと一緒に楽しんだり、お休みの日は親子で図書館に行くなど、小さいころから絵本に親しむ環境づくりを心掛けてはいかがでしょうか。ただし、小さいころから難しい本を読ませようとするとストレスを感じ、かえって絵本嫌いになってしまう危険性もあります。絵本を選ぶときに考えなくてはならないことは、そのお子さんの発達段階に応じた絵本を選ぶことが大切です。乳児期にはリズム感のある楽しい言葉のある絵本を、そして、抽象的なものより写実的なものを、幼児期には言葉でものを考える時期ですのでハラハラドキドキしながら楽しめるストーリー性のあるもの、友だち、気持ち、命などを考えさせる心情的なもの、科学的な絵本など幅広い中から選んでも大丈夫です。そして、子どもが絵本を「読んで!!」とリクエストしてきたら、気持ちよく読んであげましょう。膝に乗せ、息がかかるくらいの距離ならもっといいかも…字が読めるお子さんに対して「字、読めるでしょ。自分で読みなさい!」は禁物です。また同じ本を何度もリクエストする時もそれに答えてあげましょう。余談ですが、小さい時にたくさんの絵本に出会って、その楽しさが分かるお子さんは大きくなって本が大好きな人になります。本が好きな小学生、中学生、高校生は国語が得意になり、波及効果として英語などの他の教科も得意になる可能性を秘めています。子どもを本好きにするもう一つの方法は、親が本を読んでいる姿を見せることです。親の本好きが子どもを刺激したりするものです。ビデオやDVDが溢れている世の中ですが、テレビを消して、ゆったりした時間の中で過ごす、そんな経験をたくさんして欲しいと考えています。